

# 東部地域住民自治協議会 環境保全部だより 第12号

2012年3月15日発行  
東部地域住民自治協議会  
環境保全部会  
伊賀市緑ヶ丘本町1681-8  
東部地区市民センター内  
TEL・FAX 0595-24-3999

## 環境学習会「菜の舎とバイオ燃料センター」見学

9月7日（水）、環境学習会として、大山田の「菜の舎(なのくら)」とゆめが丘の「バイオ燃料センター」の見学を実施し、41名の参加がありました。

「菜の舎」では、菜の花が菜種油になるまでの「乾燥⇒焙煎⇒搾油⇒ろ過⇒瓶詰」の工程を見学して、「伊賀市菜の花プロジェクト」を体験しました。その途中の工程でできる乾燥した菜の花の肥料と菜の花の種をいただきました。また、バイオ燃料センターでは、三重大学伊賀研究拠点の加藤教授からエネルギーについての講義を受け、その後、廃食油からバイオディーゼル燃料（BDF）に精製されるまでを見学しました。最後に伊賀菜種油「七の花」をパンにつけていただき、とてもおいしかったです。今回、見学して、エコロジーとエネルギーの大切さを実感しました。



「伊賀市菜の花プロジェクト」は伊賀市の地域ブランドづくりの一環として、環境に優しい農業を実践することや資源循環社会のモデルを構築していきます。また、伊賀産菜種油「七の花」をはじめ、農産物の販売や交流人口の増加を図り、地域を活性化していくことを目的としています。具体的には遊休農地などを活用して菜の花を栽培し、美しい農村風景を創りだすとともに、その菜種を搾り地産地消に努め、また、地域の

特産品として販売に取り組んでいきます。また、使い終わった菜種油は、他の廃食油とともに回収してバイオディーゼル燃料(BDF)に精製します。精製できた燃料を農業用トラクターなどに利用することで地域の資源循環モデルを実施していきます。(社)大山田農林業公社HPより)



# 環境学習会「針江生水(しょうず)の郷」見学

11月4日(金)、環境学習会として滋賀県高島市新旭町針江という静かな町の見学を実施し、50名の参加がありました。現地では5班に分かれて1時間30分のコースをガイドさんの案内で見学しました。比良山系に降った雪や雨が伏流水となり、地下24mから各家庭に清らかな水がこんこんと自噴し、人々が飲料や炊事といった日常生活に利用している「川端(かばた)」と呼ばれる究極のエコシステムには驚かされました。そして頂いた竹のコップで、各川端の生水を試飲してみると、微妙に違う水の味をみなさん楽しんでいました。各家庭の川端には野菜くずや飯粒を餌とする鯉が飼われていて、下流にきれいな水を流すという思いやりをみんなが当たり前のようにしている姿に感動しました。今回の見学を通じて、日常生活において、少しでもきれいな「水」を流すという思いやりを大切にしたいと痛感しました



(右)水中に美しく咲く梅花藻



(下)水車による発電

電気は常夜灯に利用



家屋はないが、川端からは水が湧き出ている

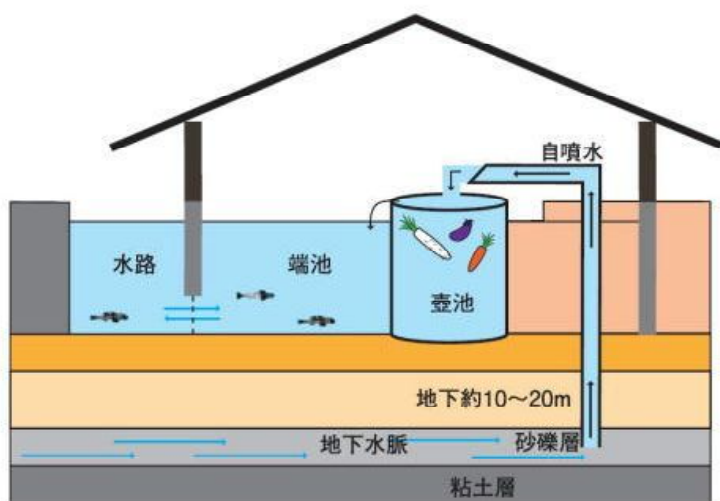


## 参加された方の感想

- ・湧き水があちらこちらからあふれている様子や珍しい梅花藻などを見せていただき、大変よかったです。
- ・各家庭では、水不足の心配がいらぬことに、私たちはうらやましく感じました。
- ・とても水のきれいな郷を見学させていただいて、その陰には大変な努力のあることを感じさせていただき、力を合わせて協力し合うことの大切さを学習しました。
- ・今日学習したことをみなさんに話をし、地球環境を守りたいです。好天に恵まれたこの旅は、何歳か若返ったような気がします。
- ・針江地区が一丸となり、地域の良さや活動をPRしている、このような取り組みはすばらしく感じました。
- ・水の大切さを痛感しました。この学習会で学んだことを、地域での水に対する啓発に役立てたいと思いました。

## ～美しい水を守る針江の生水・川端(かばた)のある暮らし～

高島市針江地区を流れる美しい湧き水。集落の中を透明な水で満ちた水路が巡り、小魚や鯉が元気に泳ぎ回る。針江地区の人々は、地域の清冽な湧き水を「生水(しょうず)」、水路やその水を生活用水に利用するシステムを「川端(かばた)」と呼び、昔から大切に利用してきた。水の恵みをありがたく享受し、自然と共生する生活が国内外から注目され、見学者が多く訪れるようになってきている。「針江の生水」は、平成20年(2008年)、環境省「平成の名水百選」に選定された。



地中に打ち込んだ鉄管(元池)から湧き出る生水は壺池に溜められて、飲み水としてだけでなく野菜や穀物などの食材を洗ったり、果物を冷やしたりする生活用水として利用される。使用された水は端池に入り、針江地区を流れる水路から引き入れられた水と一緒に再び水路へと戻っていく。川端の多くが水路でつながっているため端池には鯉を飼い、野菜などの食材や食器を洗った時に端池に流れ込む野菜屑や飯粒を食べさせること

で水を汚さないようにするなど、先人から受け継いだ知恵や工夫が息づいている。人々は、川上の人を信頼し川下の人を思いやりながら、「きれいな水を琵琶湖に戻す」との思いで、今も川端を使い、守っているのです。針江の人々にとって、水をきれいに使い、琵琶湖に戻すことは特別なことではなく、毎日の生活の中に組み込まれているごく自然の行為です。ガイドさんは「針江の人間にとっては当たり前すぎることだったので、外部から指摘されるまで気付くこともなかった」と話してくれました。一日、一日が川端と共にあり、川端のない生活は考えられないというほど、川端は人々の精神にも深く寄り添っている。





# みんなで楽しくクリーンウォーク

## 第3回クリーンウォーク（上野旧町部）

10月2日（日）、第3回クリーンウォークを実施しました。環境保全部会員と地域の方の40名が参加しました。少し肌寒いが清々しい秋空の下、農人町コミュニティー広場北の駐車場から上野旧町部を5つのコースに分かれて清掃活動を行いました。

## 第4回クリーンウォーク（矢谷川周辺）

12月3日（土）、伊賀市環境保全部市民会議のみなさんと一緒に矢谷川周辺の清掃作業を行いました。集まった約30名が、傘を片手にゴミ袋とハサミを持って出発しました。あいにくの悪天候の中でしたが、大量のゴミを拾い集めることができました。最後に温かい「豚汁」が振舞われました。

参加されたみなさん、雨の中、本当にお疲れ様でした。



## 第5回クリーンウォーク

### （矢谷川周辺）

3月4日（日）、クリーンウォークを実施しました。環境保全部会員と地域の方の35名が参加しました。川の水が少なかったため、多くの人が川の中岸まで入り、ゴミ拾いをすることができました。それで、これまでで一番多くゴミを回収することができました。

自転車4台、他に消火器など様々な物が捨てられていました。ゴミ拾い後、矢谷川の姿はゴミのないきれいな川になりました。



## 犬を散歩されている方へ

矢谷川周辺のクリーンウォークを行っている時、犬のフンがそのままになっていたり、ビニール袋に入れて川に捨てられているのを見かけます。

**マナーとして、犬のフンは持ち帰るようお願いします。**

犬のフンは持ち帰ろう



きれいなまちはマナーから

## 次回クリーンウォークのお知らせ

4月8日(日) 7:00～8:00 矢谷川周辺

集合場所 くれは水辺公園 秋の広場

さわやかな空気の中で健康づくりに、地域の人々のふれあいを深めるために、クリーンウォークに

**多数のご参加お待ちしております!!**

